

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

ニーズをとらえる力

レベル毎の目標:助言を受けてケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる

行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる			
	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	■ 必要な情報収集とアセスメントの考え方を理解する			
	■ 助言を受けながら利用者の身体的、精神的、社会的スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる			
	■ 利用者の状況から医療的な緊急度をとらえ、ケアする必要性に気付くことができる			
	■ 自分の行った看護計画に対し他者からの評価、意見をj得て修正を考えることができる			

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

## ケアする力

レベル毎の目標: 助言を得ながら、安全な看護を実践する

行動目標	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実践できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	<b>■</b> 病院や施設と異なり、医療廃棄物専用のスペースはない中で、必要な感染対策について理解と実施ができる			
	・感染予防のための基本的な手洗い・うがいができる			
	・ごみ処理、医療廃棄物の処理ができる			
<b>■</b> 感染者がある場合の訪問の順番を理解できる				
<b>■</b> 利用者の家においてケアを提供することを意識した基本的な配慮ができる				
<b>■</b> 利用者のケア方法を知り、指導を受けながら実施できる				
<b>■</b> 訪問看護実施のための準備ができる				
・身分証明書・名刺・ユニフォーム・タオル・着替えの準備ができる				
・訪問バッグ・必要物品の準備ができる(バッグ・血圧計・聴診器・パルスオキシメーター・ペンライト・消毒液・使い捨て手袋・エプロン・その他必要物品)				
・接遇とマナーの基本(服装・身だしなみ・言葉遣い・訪問時間厳守・遅れた場合の対応等)ができる				
<b>■</b> 在宅で必要とされる基本的な看護技術について、看護手順やガイドラインに沿って、実施できる				
・バイタルサイン測定				
・フィジカルアセスメントの把握				
・セルフケア能力の把握; 食事・排泄・清潔・衣生活・睡眠・服薬・移動				
・家族・介護者の状態把握				
・療養環境の把握				
・リハビリテーション				
・健康維持や予防に基づいた支援、指導				
<b>■</b> 必要な医療処置ができる				
① 栄養管理: 鼻腔栄養法・胃瘻栄養法・腸瘻に関して				
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技				
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際				
・利用者・家族への支援・指導				
② 排泄ケア: 間欠導尿・膀胱留置カテーテル・膀胱ろう・腎ろう・ストーマ(人工肛門・人工膀胱)・摘便、浣腸、坐薬挿入に関して				
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技				
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際				
・利用者・家族への支援・指導				

実践例	できる:○、自信ない△、できない×					
	評価		評価		評価	
	月	日	月	日	月	日
<b>③創傷処置</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>④在宅中心静脈栄養;HPN</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
・セット交換						
・挿入後の管理						
<b>⑤持続輸液ポンプ</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑥完全皮下埋め込み式カテーテル(ポート)</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑦注射;静脈注射、持続皮下注射、点滴静脈注射(翼状針・留置針)、筋肉注射、インシュリン注射</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑧在宅酸素療法(HOT)</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑨気管カニューレ</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑩人工呼吸器:非侵襲的人工呼吸療法、侵襲的陽圧喚起療法</b>						
・開始時の導入支援(準備・説明)・管理、実際の手技						
・在宅で起こりやすい異常やトラブル予防法と対処法の理解と実際						
・利用者・家族への支援・指導						
<b>⑪在宅での看取り</b>						
・身体症状のアセスメントと症状コントロールの実際						
・終末期のプロセスの理解						
・死後の処置						
・利用者、家族との適切なコミュニケーション						
<b>⑫急変時の対応について</b>						
・訪問宅で起こりやすい状況を予測し回避できる						
・急変時の対応・連絡・報告ができる						

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

## 協働する力

レベル毎の目標: 関係者と情報共有ができる

行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割が理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる			
	実践例	できる: ○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	<b>■ 他施設多職種の仕事が理解できる</b> 連携する多職種は、医師、看護師(ステーション内、他ステーション)ケアマネジャー、訪問介護、施設(通所、ショート等)、訪問入浴、訪問リハビリ、病院(医師、看護師、ソーシャルワーカー等)、保健師、薬剤師、民生委員、難病支援センターなどである			
	<b>■ 必要な制度(医療保険・介護保険)等の仕組みについて理解し、利用者の保険や費用の状況を確認することができる</b>			
	<b>■ 訪問看護ステーションの一員であることを理解し、利用者へのケアを責任をもって行うことができる</b>			
	<b>■ 事業所の看護師に連絡・報告・相談ができる</b>			
	<b>■ 主治医やその他の職種への連絡・報告・相談の方法を理解し実践できる</b>			
	<b>■ 事務所内カンファレンスに参加し、発言することで、自らのもつ情報をスタッフ関係者と共有することができる</b>			
	<b>■ 在宅に関連した社会資源の内容や地域の特徴を理解できる</b>			
	<b>■ 看護記録・看護報告書・計画書・看護サマリ-・連絡表が作成できる</b>			
	<b>■ 毎月の実績の確認やケアマネジャーへのFAX送信等ができる</b>			
	<b>■ 電話対応の方法と留意点について理解できる</b>			
	<b>■ 関連機関との面談の方法と留意点について理解できる</b>			

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

意思決定を支える力

レベル毎の目標: ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る

行動目標	□助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる			
	実践例	できる: ○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	■助言を得ながら、利用者や家族・介護者の言葉から、思いや考え、希望を確認できる			
	■「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が理解できる			

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

## 組織的役割遂行能力

レベル毎の目標: チームのメンバーとしての役割や係、活動の内容を理解する

行動目標	□看護チームでは、チームのメンバーの役割、組織的には係等の役割を遂行できる			
	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
		評価 月 日	評価 月 日	評価 月 日
	■看護職としての自覚と責任ある行動がとれ自己の目標管理ができる			
	・医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人権を擁護することができる			
	・看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動することができる			
	・職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動することができる			
	・ステーション内で良好な人間関係を築くことができる			
	・同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとることができる			
	・各担当業務を責任もって担当することができる			
	・訪問看護の制度や役割を理解できる			
	・医療保険と介護保険の動向を理解できる			
	・訪問看護運営に関する法律を理解できる			
	・自ステーションの基本理念を理解できる			
	・自ステーションの運営方針を理解できる			
	・自ステーションの特徴を理解できる			
	・経営のしくみ(訪問看護の提供方法、内容、契約、利用料金、その他の費用徴収)を理解し従事できる			
	・職員体制、職位、職務内容、各係分担を理解し従事できる			
	・業務計画(年間・月間・週間・日課)を理解し従事できる			
	・営業日・営業時間を理解し従事できる			
	・勤務時間(休憩時間)を理解し従事できる			
	・休日、夜間の勤務体制を理解し従事できる			
	・給与、賞与、諸手当を理解し従事できる			
	・各団体について理解できる(長崎県看護協会・県連絡協議会・全国訪問看護事業協会・訪問看護財団など)			
	■業務に関する記録等について			
	・医療保険・介護保険の帳票類の保管場所・期間について理解できる			
	・各種届け(休暇、時間外、休職等)について理解し、届けを出すことができる			
	■ステーションが存在する建物や室内の設備について			
	・衛生材料の取り扱い、管理ができる			
	・備品(事務用品・医療用品)の取り扱い、管理ができる			

※黄色い部分は変更不可

長崎県看護協会

実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
	評価	評価	評価
	月 日	月 日	月 日
・室内清掃、ごみの取り扱いができる			
・鍵の取り扱い(開錠・施錠)、管理ができる			
<b>■公用車の取り扱い・移動手段について</b>			
・交通規則を守り、安全に稼働ができる			
・台数、駐車場所を把握し鍵の管理ができる			
・清掃・点検の方法を把握し管理ができる			
・車や交通機関利用時の交通事故報告・後の対応方法および必要時訪問調整することを理解できる			
<b>■事故について</b>			
・事故防止対応(マニュアル)が理解できる			
・訪問宅で起こりやすい事故(利用者・家族・物損)を予測できる			
・事故発生時の連絡、報告、対応ができる			
・事故報告書、ヒヤリハット報告書が作成できる			
・在宅における苦情の内容や苦情処理の仕組み、初期対応法について理解し上司に報告ができる			
<b>■暴力・暴言・セクシャルハラスメント・虐待・ネグレクトについて</b>			
・訪問宅で起こりやすい状況を予測し回避できる			
・発見時および発生時の連絡・報告・対応ができる			
<b>■災害について</b>			
・災害マニュアルを理解できる			
・災害が超えた場合の在宅状況を想定し利用者に必要な備え備品、医療処置、避難場所を理解し指導ができる			
・防災設備の取り扱いができ、災害発生時には指示に従って行動ができる			
<b>■自己の健康管理について</b>			
・定期健康診断の必要性について理解し受診することができる			
・予防接種(インフルエンザ等)の必要性について理解し接種できる			
・自己の健康管理ができる (健診結果・体調不良時早めの報告、日ごろの感染予防対策等)			
<b>■個人情報の漏洩防止</b>			
・個人情報提供同意書の取り扱いができる			
・守秘義務を厳守し、記録・情報の取り扱い方・注意に配慮できる			

## 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する ラダー I

氏名

自己教育・研究能力

レベル毎の目標: 自己の課題を導き出し学習することができる

行動 目 標	□ 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる			
	実践例	できる: ○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	■ 自己の課題がわかり、自主的に学習できる			
■ 事業所の研修計画に沿って受講できる				